

信頼性・安全性と高機能性の両立を目指して



1969年にロッドエンドベアリングの生産を開始して以来、技術と認定の蓄積を確実に行ってきました。

ロッドエンド事業部長
武者 次彦

航空機用部品は、部品の不具合が人命に関わるため、非常に高い信頼性を要求される分野です。

このため航空機用部品は、何トンもの荷重だけでなく、急激な荷重変化、エンジン付近ではセ氏500度に達するとともに高度1万メートルでは外気温はセ氏マイナス60度という温度状況や温度変化、さまざまな気候条件、揺動などに耐え得るだけでなく、離陸から着陸までのすべての用途環境を考慮した試験データにより耐久性と安全性が確認されなければなりません。

厳しいスペックに対応できる生産技術力に加え、高度な試験設備力が必要とされるビジネスです。

航空機産業における認定は、このような厳しい基準を最低限満たさなければならないのであり、それを得ることで初めて市場参入の権利を得るといった特殊なビジネスです。

また、認定は個々の部品だけでなく、熱処理や表面処理などの生産工程についても一つひとつ取得する必要があり、高度なノウハウが要求されます。

ミネベアでは、1969年にロッドエンドベアリングの生産を開始して以来、技術と認定の蓄積を着実に行ってきました。90年代からは、無潤滑で滑ることが難しい分野や、高度な耐久性を要求される分野など、他社が手がけることが難しい分野へ進出し、世界の航空機産業にとって不可欠の部品メーカーの地位を築いてきました。

今後も、世界トップクラスの超精密機械加工技術に加え、応力解析シミュレーション技術や試験技術の高度化をはかり、技術ロードマップに沿って着実に高い競争力を持つ製品を開発していきたいと考えています。

ロッドエンド事業部副事業部長
河田 英喜

航空機用（ロッドエンド）ベアリングは、高いシェアと高い収益性が両立した事業です。9.11テロにより一時需要が減少しましたが、現在では順調に拡大しています。今後もエアバス A380 の就航などのプロジェクトが立ち上がる予定で、需要の拡大が続くものと考えています。

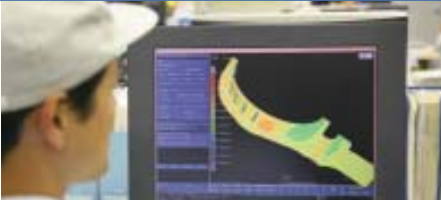
これに対応して、計画的な製品開発と設備投資を行い、高い収益性と成長の両立を目指しています。



航空機用ベアリング

コンピューターを使った応力解析

荷重性能試験装置



Bearings for Aerospace Use

Rod-End Bearings

Spherical Bearings

Roller Bearings

Sleeve Bearings

Mechanical Assemblies

12



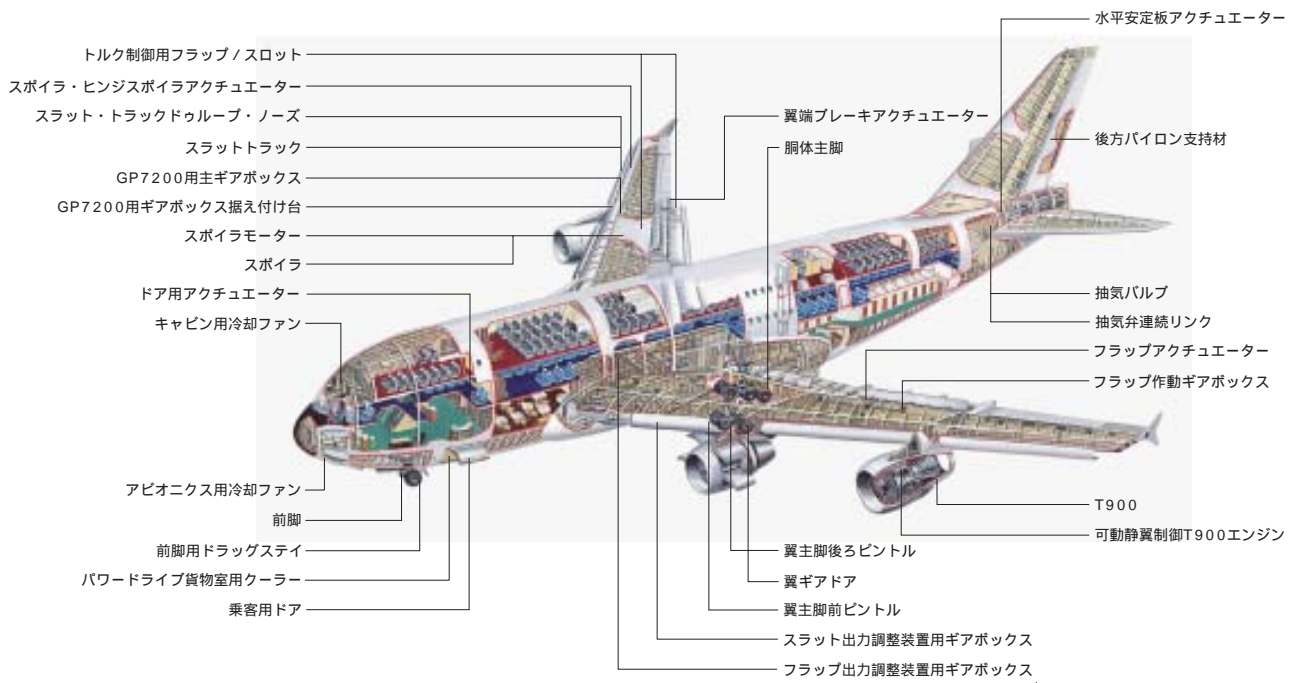
ロッドエンドベアリング

検査



高品質、高信頼性を保証するための検査。

最新鋭航空機を支えるミネベア製ベアリング（エアバスA380）



航空機用ローラーベアリング

